

こうざえもんつうしん 講左衛門通信

平成 29 年 10 月 8 日

第 9 4 号

発行 天台宗忍草山東円寺

〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

☎ 0555-84-4114

『10月3日には、天台宗の千日回峰行を満行された上原行照大阿闍梨様を東円寺にお迎えして、人々の安穩を祈っていただいたんじゃよ。東円寺の不動明王は、富士山一合目鈴原社に祀られていたが、明治の廃仏稀釈により富士山から降ろされ、富士吉田市の信者宅でお守りされたんじゃ。しかし、「東円寺に遷座せん・・・」と不動明王から夢のお告げを受けて、東円寺にお祀りされたんじゃ。富士山が世界文化遺産に登録されて以後、富士山信仰行事の一環として上原阿闍梨様が毎年お護摩を焚いてくださることになったんじゃよ。今年は何峰行の祖、相応和尚の1200年御遠忌でな、東円寺は毎年11月3日にお会式という天台大師様と伝教大師様を偲ぶ両大師会をしておるんじゃが、この日が相応和尚の命日なんじゃよ。今年、相応和尚が亡くなられて1200年じゃ。1200年の法灯を受け継がれている阿闍梨様は例年以上に忙しくされておるんじゃよ。そのような中での開催だったんじゃ。』

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

☐癖 でまっすん..



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳

職業 大我講の先達

(先達とは案内責任者)

『本当に有りがたいことでまっすん。天気予報では雨の予報だったでまっすん。けれども、穏やかな日差しは、参列された人々を温かく包んでくれていたでまっすん。4日は、冷たい雨が降り続き寒かったでまっすん。やっぱり、仏様はいるんだと痛感したでまっすん。』

『法話では縁についてお話されていたぞ。今年、テレビ報道などで取り上げられたようじゃが、新たに阿闍梨様が誕生されたんじゃよ。10月14日には、京都御所の土足参内が予定されておるんじゃ。御所に土足で上がるのは、阿闍梨様だけなんじゃ。土足参内にも歴史があつてな、相応和尚(寛平2[890]年)が宇多天皇の歯痛を癒すために宮中に呼ばれた時、和尚は勅使が用意した馬車に乗らず歩いて出向いたんじゃ。ところが門衛がこの修行姿の粗末な身なりの和尚を見て追い返してしまつたんじゃよ。やむなく帰ろうとした和尚を天皇は慌てて呼び戻し、草履ばきのまま歩いて内裏に入ったということから、現在に至っているんじゃよ。今年誕生された釜堀阿闍梨様は、上原阿闍梨様にとって弟の弟子になるんじゃ。仏縁というのは不思議な力があり、縁を切らぬような努力が必要じゃな。』

『お護摩が終わるとお加持をしてくだり、その後御法話をしてくださったでまっすん。日帰りの強行スケジュールで、4日には比叡山に上がられ、その後もお忙しい日々が続くと聞いたでまっすん。それほど忙しいスケジュールにも関わらず、東円寺にお越しくくださるのは、富士山と縁の深い不動明王がおられるからでまっすん。来年も開催されるでまっすん。多くの皆様にお参りいただきたいと思っているでまっすん。』

『次回、富士山世界文化遺産の構成資産(山梨県)について話をしようと思つておる。』